

へいじろう

HEIJIRŌ



2017 夏
平成 29 年 8 月 1 日
第 42 号



写真提供：当院リハビリテーション室 松尾勇佑

もくじ

-  P1…小児科岩元二郎先生より
-  P2…ハッピーボックス投稿紹介
-  P3…鹿児島県総合防災訓練／第1回ケアカフェたねがしま
-  P4…新入職員紹介／栄養管理室より
-  P5…自動ドア更新のお知らせ
-  P6…診療予定表
-  P7…詩・短歌の紹介／編集後記

小児科の岩元二郎先生より

種子島医療センターの小児科 についてです

種子島医療センターの 小児科が変わります！



田上病院時代の平成6年に、鹿児島大学小児科の協力により小児科専門医1名が常駐するようになり、専門医による小児科診療が始まりました。平成15年から2名体制になり、そして平成28年4月、種子島医療センターに名称変更して1年後、平成29年4月より3名体制になりました。種子島全体で少子高齢化が進み、小児人口も減少はしていますが、逆に小児科医が増えたことで、質の高い小児医療を提供できればと考えています。そして小児科医がいることで安全・安心の子育てが実感できて、人口減の流れにストップをかけられたらと思っています。

現在のスタッフは部長の岩元二郎と精松貴成、7月から新任の井上博貴の3名です。新体制になったことで、小児科は何をしているのか、これから何をするのかというビジョンを提示したいと思っています。大まかには、われわれ小児科は以下の3つの医療を実践します。3名体制になったメリットを十二分に活かしていければと思います。

① 治す医療（疾病医学）

熱や腹痛など、病気になった時の診断と治療で、従来からやっていた医療（一般診療）です。しっかりと丁寧な診察し、必要な検査をし、外来や入院した時の医療を充実させます。当院で対応できない病気や、重症の患者は鹿児島市内の病院に紹介したり、救急搬送します。中種子・南種子の小児一般診療に関しては、中種子の田上診療所の診療枠を増やし、また将来的には南種子にある公立種子島病院と連携していきます。



岩元二郎先生

② 防ぐ医療（予防医学）

病気にかからないようにしたり、特別な病気を見逃さないための早期に発見する医療として予防接種と乳児健診があります。行政とタイアップして予防接種率をあげ、乳児健診では気になる子をピックアップし、早期に関係機関につなげていきます。

③ 支える医療（社会医学）

少子化対策イコール子育て支援であり、医療としては支える医療になります。これを形にして“見える化”する必要があります。具体的には発達障害やこころの問題、心身障害のある子どもや親御さんを身体的、精神的、心理的にささえることを指します。これは医師だけでなく、院内外で子どもにかかわる多くの職種間での多職種連携が必要になります。特に②と③の医療に関しては、種子島で唯一の分娩施設がある種子島産婦人科と唯一の小児科医がいる種子島医療センターとがスクラムを組んで子育て支援を推進していきます。

（文責：岩元二郎）

ハッピーボックス 投稿紹介

さて、へいじろう5月号にて、私だけの嬉しい出来事、心温まるエピソードを投稿して頂くハッピーボックスを紹介しました。あわせて、投稿頂いたものを広報誌へいじろうに掲載させて頂くこともご案内しておりました。今回は、その中の一つの投稿を紹介したいと思います。



ハッピーボックスは病院正面玄関前のカウンター上に設置しております

今後も、広報誌へいじろうにて掲載を続けていきたいと考えております。皆さまも、日常の中での嬉しかった出来事、心温まるエピソードを書きとめて頂き、皆が幸せな気持ちになれるよう、ハッピーボックスへの投稿をお待ちしております。

(地域医療連携室 坂口 健)

平成 29 年 6 月 26

種子島医療センター 病院長 宛

ハッピーボックス投稿

身近な心温まる嬉しい情報や感謝の内容等を投稿して頂きますようお願いいたします。

仕事とプライベートの両立

理学療法士 大坪正和さんは、日々の業務をこなしながら、趣味の
水泳である スノーボードダイビングのライセンスを取得しました。

正式名称は、CMAS (Confederation Mondiale des Activites Subaquatiques) の略、英語では World underwater federation (世界水中連盟) ダイブマスター

趣味の スノーボードダイビングが高じてライセンスを取得し、将来的には
障害者の方々が スノーボードダイビングを楽しめるようにサポートしたいと考えて
いるそうです。

海に囲まれている種子島ならではのライセンスを実践している
大坪さんの紹介でした。

“鹿児島県総合防災訓練” が開催されました



平成29年5月21（日）、西之表市において鹿児島県の総合防災訓練が開催されました。南海トラフ地震を想定し、県内・島内の関係機関、自衛隊他、そして当センターDMAT隊も参加をいたしました。私自身も被災者役として参加させて頂きました。今回は、想定のもと各関係機関が初めから集結していたわけですが、もし仮に震災が起きた場合、一同が集結するまでにはかなりの時間を要するのだろうと、島内の関係機関がどのような体制をとるべきなのか、そして島民一人一人が意識をし、どのように行動すべきなのか、あらためて考えさせられる貴重な体験だったと思います。

（地域医療連携室 坂口健）



第1回 “ケアカフェたねがしま” が開催されました



平成29年5月26日（金）に、当院4階会議室にて、“第1回ケアカフェたねがしま”が開催されました。ケアカフェとは、まったく新しいコンセプトで行われる、医療者、介護者、福祉者の集まりです。顔の見える関係づくりと日頃のケアの相談などができる場になればという想いから開催され、行政や施設、各事業所から、様々な職種の方にお越し頂きました。

当院消化器外科部長の花園先生が“マスター”役をつとめ、「やりがい」というテーマをもとにグループで、各々の想いを語って頂きました。各グループから、日頃感じていることなど、たくさんの気づきや意見を出していただき、有意義な時間を過ごすことができました。今後も、地域の多職種が気軽に語り合える場として継続していければと考えています。

（地域医療連携室 加世田和博）



新入職員紹介



ほうしと
3階西病棟看護師の**法師人 みなみ**です。
出身地：栃木県
趣味・特技：スノーボード、スケートボード
サーフィン（最近始めました）、バレーボール
わからない事も多く、皆様にはご迷惑をお掛け
すると思いますが、一生懸命頑張りますのでよ
ろしくお願いします。種子島ではサーフィンも
楽しみたいので、始めたばかりですが、見かけ
たら声を掛けて下さい。

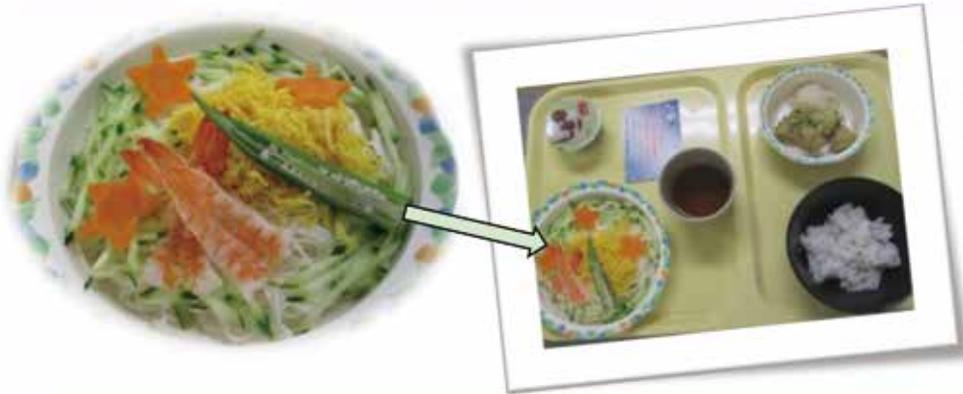


いのうえ ひろたか
小児科医師の**井上 博貴**です。
出身地：鹿児島市
趣味・特技：ゴルフ
早く新しい環境に慣れて、種子島
の医療に貢献できたらと思います。
よろしくお願いいたします。



はやし あつみ
4階病棟看護師の**林 亜津美**です。
出身地：栃木県
趣味・特技：サーフィン
海が綺麗な島に憧れてきました！楽し
みながら頑張ります！皆さんよろしく
お願いします。

栄養管理室より～病院食の紹介です～ 季節の食事 ～夏編～ を紹介します。



- お品書き(常食)
- ゆかりご飯
 - 七夕そうめん
 - 鶏肉の磯風味天ぷら
 - 大根おろし
 - くず餅

栄養管理室 & 淀川食品株式会社より病院食「夏編」を紹介します。
7月1日(金)の昼食は、七夕をイメージした献立でした。節句に旬の
ものを食べ、邪気を祓い無病息災を願う風習がありますが、夏にそうめ
んを食べるのも、その一つです。

献立のポイント

【血圧の高い方へ】

▽鶏肉の磯風味天ぷら
天ぷらの衣に、青海苔
を混ぜると、風味が
良くなり、しょうゆ
やソースがなくても
美味しく召し上がれ
ます。



▽そうめん
そうめんのつゆには、多くの
塩分が含まれています。いつ
もより薄めることで減塩につ
ながります。

【夏バテ対策】

▽そうめん
暑いからといって、冷たいそう
めんだけでは、夏バテの
原因になります。たま
には、温かいそうめん
にして野菜&肉を入
れて食べましょう。
栄養のバランスも良
くなりますよ！



(栄養管理室 渡邊里美)

自動ドア更新のお知らせ

この度、一階の外来にある救急搬入口および、二階にある職員通用口の扉をあらたに自動ドアへと更新しましたので、お知らせ致します。

【一階の救急搬入口】

▽外側からの出入り

《職員》………午後9時～翌日午前7時は入口に

設置してあるテンキーにて暗証番号
を入力し入館。

《患者・家族》………午後9時～翌日午前7時は入口横に

設置してあるインターホンを押して
受付して頂き入館。

▽内側からの出入り

《職員・患者》………ドア右に設置の押しボタンでドア開閉。



上写真の赤丸部分のインターホンを押して
受付をお願い致します!!

【二階の職員通用口】

▽外側からの出入り

《職員》………午後9時～翌日午前7時は入口に

設置してあるテンキーにて暗証番号
を入力し入館。

《患者・家族》………午後9時～翌日午前7時はこちらの

ドアからの入館は出来ません。

▽内側からの出入り

《職員・患者》………ドア右に設置の押しボタンでドア開閉。

(地域医療連携室坂口健)

内側から開ける場合は、ドア右に設置してある
ボタンを押して下さい。(1階・2階の扉も同じです)



職員は、暗証番号を入力し入館して下さい。

外来担当医表

平成 29 年 8 月 1 日現在

診療科	診察時間	月	火	水	木	金	土
内科	9:00~12:30	島田/伊集/児玉	島田/伊集 遠迫/野田	会長/高尾院長 島田	伊集/遠迫/野田	島田/内村 松本/児玉	会長/島田 伊集/児玉
	14:00~17:00	島田/伊集	島田/児玉	島田/伊集	野田/遠迫	島田/内村	島田/野田
循環器科	9:00~12:30	田上理事長	田上理事長 北園	北園	北園	田上理事長 吉野	吉野
外科	9:00~12:30	肥後	花園	花園	肥後	花園	花園/肥後 (隔週交代)
	午後は手術により休診になることがあります。事前に受付へご確認ください。						
整形外科	9:00~12:30	高野 音羽(10時~)	高野または音羽 鹿児島赤十字病院より	鹿児島大学より	高野(10時~) 音羽 鹿児島大学より	高野 音羽(10時~)	
	要確認		鹿児島赤十字病院より		鹿児島大学より		
脳神経外科	9:00~12:30	盛満	盛満	盛満	盛満	鹿児島大学より(隔週・不定期) 鹿児島市立病院より(土・日 不定期)	
眼科	9:00~12:30	田上純真	田上純真	田上純真	田上純真	田上純真	田上純真(不定期)
	14:00~17:00		手術		手術	手術	
小児科	9:00~12:30	岩元/楠松/井上	岩元/楠松/井上	岩元/楠松/井上	岩元/楠松/井上	岩元/楠松/井上	岩元/楠松/井上
	14:00~17:00						

午前の受付時間：11時30分までです。(手術等により変更がある場合がございますのでご了承下さい)

診療科/診療担当医は、手術等により変更になる場合がございますのでご了承下さい。

脳神経外科(金・土)医師不在時は、休診となる場合があります。

専門外来日程表

平成 29 年 8 月 1 日現在

診療科	診療日		受診方法	医師派遣元
泌尿器科	毎週	月	予約なしでも可	鹿児島大学病院
	第1・3	火(午前)	要予約	
耳鼻咽喉科	毎週	火/水	予約なしでも可	鹿児島大学病院
皮膚科	毎週	金(午前)/土	予約なしでも可	鹿児島大学病院
腎臓外来	毎週	木	要予約	種子島医療センター
消化器外来	毎週	火/木 (午前)	診察(要予約)	種子島医療センター
呼吸器外来	毎週	水/土	要予約	鹿児島大学病院
糖尿病外来	第1・3	月	要予約	鹿児島大学病院
	第2・4	火/木		
神経内科	月に2日	火(隔週) (不定期)	要予約	鹿児島大学病院
血液内科	月に2日	土(不定期)	要予約	鹿児島大学病院
心療内科	第1・3	金/土	要予約	鹿児島大学病院
	第2・4	土		
循環器外来 (ペースメーカー)	第3	土(不定期)	要予約	鹿児島医療センター
肝臓外来	第1~4	土	要予約	鹿児島大学病院
禁煙外来	毎週	月(午後)	要予約	種子島医療センター

診療日に変更がある場合もございますので、詳細は受付までお問い合わせ下さい。

詩・短歌の紹介



患者様から頂いた、素敵な詩・短歌をご紹介します。

母が入院した

野邊 二男様

俺、小つか時から「わい、兄上が、こと勉強がでんから、家に残って農業をせんばやなあ。」ちゆうて言われてきたとよ。兄上は大学にも出て、そんなときやあ、親父は出稼ぎに行つて、母な一人で農業して、兄上に仕事をしたとよ。

兄上は、今は会社の良かもんになって、裕福な生活をしてるごたんろう。時々帰省つてくるときやあ、二千円ばかりの菓子箱を持ってくらあや。そうせーば、母なんらー、自分もめつたに喰うこともなかなガラメや伊勢えびも買つてとりもちするとよ。地元に住る人になせんばつて！。

この前母が入院した時、「兄上、母が入院したろう。わあーも来てみれや。」ちゆうて電話したら、「俺、今会社が忙がしゆうして来はならんや、わんたち見ててくれーや。」

それからひと月。手厚い治療・介護の甲斐もなく母は亡くなった。そんなときやあ兄上もバキーも来とつや。もの言わん母に、色々言つてなにならうかなあ。ものも言つて来れば良かったとに……。俺がバキーは、走り通えーして面倒を見たとよ。バキーがやさしかかげーよ。国民年金じゃあ生活出来んから、老人をとつても働かんばじやとや。退職金も無し貯金も無し、残つたのは神経痛ばかりじや。墓も兄上に譲るごたらーい。

松下 シツ様

空をゆく 雲の流れに 誘われ 明日へと生きる 一日一日
雷鳴に 眠り遠のく 痛む腕 安定剤を 今宵飲みなり
空をゆく 雲の流れに 委ねつつ 痛さは忘るる 術後の朝

(地域医療連携室 加世田和博)

編集部より

ジメジメした梅雨が明け、太陽がより近くに感じられる季節がやって来ましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。▼7月には、福岡県を中心に記録的な大雨に見舞われ、大変な被害となりました。被災された方々の一日も早い復興を心より、お祈り申し上げます。▼種子島もこれから先、台風の到来があるわけですが、日頃より、防災へ関心を持ち、十分な備えを行っていきましょう。▼最後になりますが、暑い日が続いておりますので、こまめに水分を摂取するように心掛け、熱中症や脱水症を予防し、今年の夏も元気に過ごして参りましょう。
(リハビリテーション室 宮崎一成)

へいじろう記事募集のお知らせ

へいじろうでは、記事を募集しております。載せて欲しいという原稿や、書いてほしい記事の要望など、何でも結構ですので、編集部員まで御一報ください。
貴島 知世 (リハビリテーション室)
宮崎 一成 (リハビリテーション室)
加世田和博 (地域医療連携室)
坂口 健 (地域医療連携室)

誌名「へいじろう」の由来

種子島では飛魚のことを「とつぴー」と呼び、その小型のものは「へいじろう」と呼ばれています。種子島医療センターでは、年報「飛魚」を年1回発行し、院外広報誌「へいじろう」を年4回発行しています。

社会医療法人義順顕彰会



種子島医療センター

理事長 田上寛容

病院長 高尾尊身

〒891-3101

鹿児島県西之表市西之表7463

TEL (代) 0997-22-0960

FAX (代) 0997-22-1313

E-mail;master@tanegashima-mc.jp

HP;http://www.tanegashima-mc.jp/

種子島医療センター 理念

島民の皆様に愛され
信頼される病院

私たちは、思いやりの心と
技術を研鑽する真摯な姿勢で
豊かな地域医療の向上に努めます。